

## 令和2年度 第2回長野県長野高等学校学校評議員懇談会 記録

1. 日 時 令和3年2月26日(金) 15:00～17:00

2. 会 場 長野県長野高等学校 大会議室

3. 出席者

学校評議員5名(五十音順)

小林 哲夫氏(上松区区长)、関 奈美氏(長野市PTA連合会副会長)

中村 正行氏(信州大学工学部教授)、松本 清氏(長野運送(株)代表取締役)

鷺澤 幸一氏(炭平コーポレーション(株)代表取締役)

学校職員 12名(1学年スキー教室実施のため、1学年主任欠席)

4. 次 第

(1) 開 会

(2) 学校長あいさつ

9月以降の学校の状況・主な学校行事

音楽会：保護者に非公開のためDVDで対応

2学年台湾研修旅行：台湾生徒との交流はオンラインで実施。12月に1泊2日の

クラス別宿泊研修を実施

1学年スキー研修：本日に変更

タブレット、iPadの状況説明

(3) 自己紹介(高校職員のみ)

(4) 学校より

①「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(グローバル型)」(15:05～)

NGP(Nagano Glocal Project)について

○活動報告

・2学年の最優秀発表の紹介「地域伝承ウォークラリー」

コロナ対応のため、グループ研究から個人研究にせざるをえなかったが「地域密着型」の研究と「個性的な発表」の増加という嬉しい誤算が生じた。

・台湾の学生とのビデオ協働制作プロジェクト

当初は機器の取り扱いや意思疎通で戸惑うケースが散見されたが、生徒の主體的な活動・積極的な発信が多くなった。

・その他

グローバルアカデミア2020、オンラインも取り入れた1学年のフィールドワーク、企画中のインターナショナル・アニメトーク・オンライン等の報告。オンラインコミュニケーションのスキル養成などの課題もあるが、全体として

生徒の積極的な活動がみられた。

○意見交換

- ・高齢者が元気なうちに交流をして、地元「上松地区」の伝承も取り上げて欲しい。
- ・質問「動画制作の技術指導はどのように行ったか」

A「得意な先生の指導もあったが、むしろ生徒の方が詳しかった」

- ・質問「各国との交流で使用した言語は？」

A「英語で行ったが、得意でない生徒の場合は、意思疎通が上手くいかないケースもみられた」

② 全日制の状況について

○概況（教頭より）

- ・コロナ対応として、各種行事は「行えない」のではなく、視点を変えて実施する方向で取り組み、一定の成果がみられた。

○進路指導係より

- ・コロナ対応で、外部講師・研修会等をWEB利用することが多くなった。
- ・本年度より始まった「大学入学共通テスト」の結果は、大きく変わると言われたが、本校では上手く対応できたと思われる

○生徒指導係より

- ・SNS利用に関しては、他校より問題は少ない。指導方針としては、適切なつきあい方を生徒自ら考えさせようとしている。
- ・保健室利用は秋に多くなっている。今年度は、体育の授業・運動班活動でのケガ等が多く、外出の自粛や休校の影響と思われる。

○生徒会係より

- ・全体的にはコロナ禍の影響が大きく、生徒会行事に支障をきたした。
- ・9月のクラスマッチは実施方法を工夫して実施でき、生徒の気分転換・息抜きになったと思う。
- ・密を避けるために、リモート利用の生徒大会は生徒の努力で乗り切れた。今後も現状でできることを考えさせる方向で指導していきたい。

○三学年より

- ・コロナ禍での大学共通テストであったが、生徒はよく頑張っている。国公立は強気で臨んでいる生徒が多いので、中期・後期試験について最後まで頑張らせた。

○二学年より

- ・台湾への研修旅行は中止になり残念であったが、オンライン交流と12月に1泊2日のクラス別バス旅行を実施する代替案で対応した。生徒自身でプランの決定・しおりの作成等を進めた。アンケートでは、“親睦を深めることができた”“参加

してよかった”と共に研修旅行係への感謝の言葉もみられた。

- ・その他、ノースマホデーの実施、保護者と連携しながらの成績下位者の指導、成績上位者への早朝補習の実施などに取り組んでいる。

○一学年より

- ・iPadやロイロノートの現状報告。
- ・学年クラスマッチやスキー教室など、可能な限り思い出を残す行事の実施。

○質疑：質問「iPadの費用負担や現状はどうなっているか」

A「機器は貸与で、使用料は保護者負担をお願いしている。今後は、文房具の一つとしての、様々な使い方を模索していきたい」

③定時制の状況について

- ・コロナ禍で大変な面もあったが、不登校傾向の生徒には幸いした面もある。
- ・学校外で行っていた行事を校内で実施したところ、生徒が自主的に工夫して行うことができ、満足度も高かったと思う。来年度もこの形式を踏襲したい。

④今年度の学校評価について：協力を依頼。

(5) 意見交換

- ・iPad使用で、字を書く機会が減り、字を書くことが少々心配される。NGPの活動報告を聞いて、地域と高校の連携がみえてありがたい。地区としても街灯の整備など生徒の安全に協力していきたい。
- ・NGPの動画が上手くできていた。義務教育では、各家庭環境に差があることから中止の意見もある。長野高校は机上の勉強だけのイメージがあったが、払拭された。
- ・コロナ禍の状況での長野高校の教育は評価に値する。受入側の大学でもこのような教育を受けた生徒への対応が必要である。また、コロナ禍で様々なシステムを導入しているが、今後精選して進めるところは進めたい。iPadではソフトとハードの導入の両面で、長野県へ要望していきたい。
- ・大学のリモート講義に対して、生徒が感じているギャップが心配される。
- ・この状況下では生徒も学校側も大変であるが、新しい学び方により生徒は従来とは違った満足感を得ていると思う。また、我社に長野高校OBが初めて入社してくれた。コロナの影響など様々な要因が考えられるが、地元就職希望の現れと思われるので、企業側でも対応が必要かと思う。

(6) その他

(7) 閉会